

平成25年6月14日

三次市地域振興部地域振興課

---

---

## 米軍機低空飛行への抗議文送付

---

---

三次市は、アメリカ合衆国が、2013年6月4日に行った米軍機による低空飛行に対して、別紙の抗議文を下記送付先に送付しました。

- 1 送付日 平成25年6月14日（金）
- 2 送付先
  - ① 駐日米国大使館（東京都港区赤坂一丁目10-5）  
アメリカ合衆国  
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下
  - ② 米海兵隊 岩国航空基地（山口県岩国市三角町二丁目官有地内）  
米海兵隊  
岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様
- 3 添付書類 抗議文

---

本件に関するお問い合わせ先

---



三次市 地域振興部 地域振興課 ひとつくり係

(担当/正廣)

電話番号:0824-64-2832 FAX番号:0824-64-2832

E-mail: chiiki @city.miyoshi.hiroshima.jp

〒728-0013 広島県三次市十日市東三丁目14番2号

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の安心と安全を守る立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三にわたり要請してきた。

しかしながら、6月4日には三次市作木町上空で数回もの低空飛行が行われた。

午後0時30分頃を目撃情報によると「パイロットが確認できる程の超低空飛行であった」こと、またその際に飛行していた機体を撮影したこともあり広島県を通じて事実を照会した結果、6月11日、米軍機であるとの回答を得た。

この超低空飛行に伴う爆音により、子ども達や観光客などに大きな恐怖感をもたらし、本市の安心安全が脅かされていることにほかならない。

大使閣下におかれましては、これまでも繰り返し要請しているとおり、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう改めて要請する。

2013年6月14日

アメリカ合衆国  
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下

日本国 広島県三次市長 増田 和俊

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の安心と安全を守る立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三にわたり要請してきた。

しかしながら、6月4日には三次市作木町上空で数回もの低空飛行が行われた。

午後0時30分頃を目撃情報によると「パイロットが確認できる程の超低空飛行であった」こと、またその際に飛行していた機体を撮影したこともあり広島県を通じて事実を照会した結果、6月11日、米軍機であるとの回答を得た。

この超低空飛行に伴う爆音により、子ども達や観光客などに大きな恐怖感をもたらし、本市の安心安全が脅かされていることにほかならない。

司令官様におかれましては、これまでも繰り返し要請しているとおり、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう改めて要請する。

2013年6月14日

米海兵隊

岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様

日本国 広島県三次市長 増田 和俊